

長谷川敏彦さんが描いた絵。  
原田さんへの謝罪の手紙に同封されたもの。

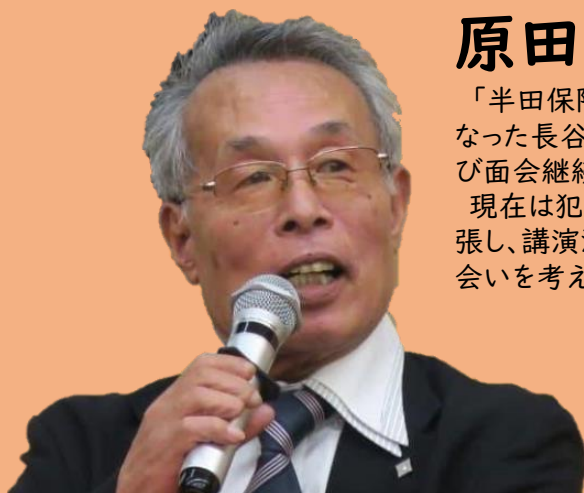


被害者と加害者の  
出会いを考える

日時 2020年3月3日(火)  
17:30～20:00

会場 東本願寺会館（北海道教務所）2F講堂  
（札幌市中央区南7条西7丁目290）

入場無料



## 原田 正治(はらだ まさはる)さん

「半田保険金殺人事件」で末弟を殺される。事件後10年目、死刑囚となった長谷川敏彦さんと異例の面会に臨む。以後、彼の死刑停止および面会継続を求める活動を開始。

現在は犯罪被害者救済支援および確定死刑囚との面会の自由を主張し、講演活動を行っている。2007年「Ocean-被害者と加害者の出会いを考える会」を設立。

『弟を殺した彼と、僕。』（ポプラ社、2004年）

「「償い」とは何か 殺人事件の被害者遺族となって」

「「赦す」「赦さない」の狭間で 殺人事件の被害者遺族となって」

（『同朋新聞』東本願寺出版、2013年7・8月号掲載）

## 公開講演会開催にあたって

死刑について議論する時、「人のいのちは奪ってはならない。しかし死刑囚は例外だ。被害者の身になったら死刑は当然だ」などと、加害者像・被害者像を勝手に決めつける私たちがいます。

被害者遺族の原田正治さんは、恨み苦しみの中にあつて、なぜ加害者との面会に臨んだのか。そして加害者の死刑執行が、原田さんにもたらしたものは何だったのか。その実際と、現在に至るまでの心の機微に触れさせていただきます。

「加害」と「被害」、そして非当事者たる私たちが共に解放されるとはいかなることなのでしょう。本講演会が死刑制度について対話する端緒となることを希求し、皆さまのご参加を切にお待ち申し上げます。

死刑制度問題班 班長 鳥宮隆法

### 半田保険金殺人事件とは

1979年および1983年に、自動車整備工場社長の長谷川（旧姓・竹内）敏彦さんと従業員の井田正道さんが、保険金を目当てに2人の男性を殺害。その数年後借金取りの男を殺害。計3人を殺した一連の事件。

1993年長谷川さんの死刑が確定し、2001年12月27日に名古屋拘置所にて死刑執行。共犯の井田さんは1987年に死刑が確定し、1998年に執行される。